

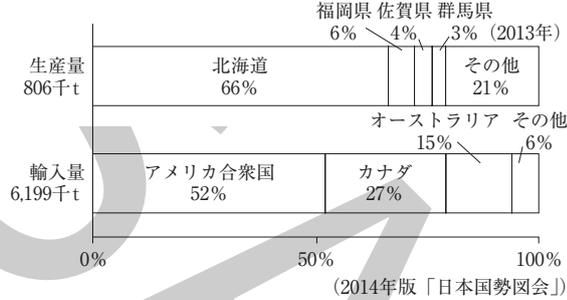
1 世界地理の資料・図を読み取る

学習日 /

□1 誠さんたちは、資料1と資料2を見て、小麦の生産や貿易についてわかることを話し合った。小麦の生産や貿易について適切に表しているものはどれか。あとから1つ選び、記号で答えなさい。 〈滋賀〉

[]

資料1 日本における小麦の都道府県別生産量と国別輸入量の割合



資料2 小麦の生産量・輸出品・輸入品の上位国(2013年)

	生産量(千t)	輸出品(千t)	輸入品(千t)
中国	121,926	アメリカ合衆国 33,198	エジプト 10,288
インド	93,510	カナダ 19,808	ブラジル 7,273
アメリカ合衆国	58,105	フランス 19,639	インドネシア 6,738
ロシア	52,091	オーストラリア 18,002	アルジェリア 6,305
フランス	38,651	ロシア 13,796	日本 6,199
カナダ	37,530	ドイツ 8,224	イタリア 5,793
ドイツ	25,019	ウクライナ 7,762	中国 5,507
世界計	710,958	世界計 162,798	世界計 161,717

(2017年版「世界国勢図会」ほか)

- ア 中国の小麦生産量は日本の生産量の200倍以上で世界最大だが、輸入量の上位国でもある。
- イ 小麦の生産量が多い国は北半球に位置している。一方、小麦輸入量上位3か国は赤道上の国である。
- ウ カナダでは小麦生産量の50%以上を輸出しており、日本の輸入量の25%以上はカナダからである。
- エ 日本では小麦の国内生産量が輸入量を上回っており、なかでも北海道での生産割合が60%以上である。

□2 次の各問いに答えなさい。 〈福井〉

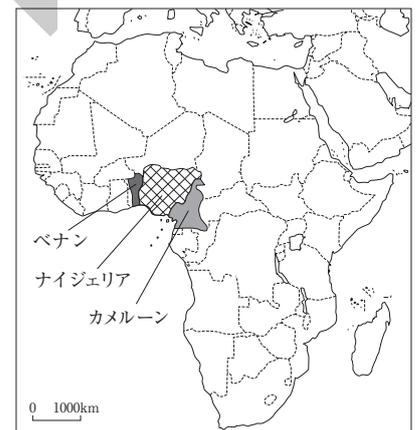
□(1) 資料1は中国の地域別の一人あたりのGDPを示した地図である。中国では、内モンゴル自治区を除くと、沿海部の方が内陸部に比べ、一人あたりのGDPが高くなっている。沿海部の一人あたりのGDPが高くなる要因の一つを、アモイとシェンチェンに着目し、解答欄の書き出しに続けて答えなさい。

1980年頃からアモイやシェンチェンなどでは、

資料1



資料3



□(2) 資料2は、資料3のベナン、ナイジェリア、カメルーンの公用語を示したものである。3か国の公用語が、資料2のように異なる理由を答えなさい。

資料2

国名	ベナン	ナイジェリア	カメルーン
公用語	フランス語	英語	フランス語、英語

(注) 公用語以外にも各民族語・各部族語が使用されている。

(「外務省ホームページ」ほか)